

## 令和2年度計画護衛艦6番艦「あがの」 引渡式・自衛艦旗授与式

令和6年6月20日（木）、長崎県長崎市に所在する三菱重工株式会社長崎造船所にて、「もがみ」型護衛艦「あがの」の引渡式が行われました。

これに引き続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長 藤原明永 2等海佐の指揮の下、乗組員は毅然とした態度で乗艦し、配備先である舞鶴に向け出港しました。

同艦は、平成30年度から建造を開始したガスタービン主機とディーゼル主機を組み合わせた推進方式であるCODAGを採用した「もがみ」型護衛艦の6番艦であり、基準排水量3,900トン、全長133.0メートル、最大幅16.3メートル、深さ9メートル、速力30ノット以上の最新鋭の護衛艦となっています。

また、『もがみ型』はステルス性を考慮しており凹凸の少ない船型と、艦橋上部に直立する複合通信空中線（UNICORN）が特徴となっています。

なお、同艦は、令和3年6月起工、令和4年12月進水、その後ぎ装工事及び海上公試を行っており、長崎防衛支局は建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の完成に深く関わりました。



▲自衛艦旗授与式



▲護衛艦「あがの」に乗艦する隊員



▲自衛艦旗掲揚



▲出港する護衛艦「あがの」